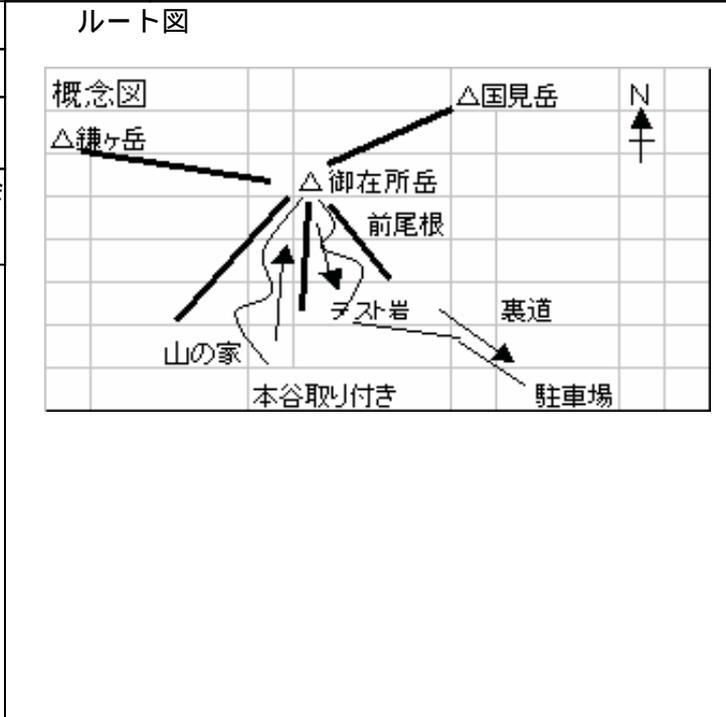


1月度山行報告書			報告者	長島	参加メンバー	L: 藤田 SL: 長島 亀山、竹内、渡辺(勝)、塚本
			報告日	07/2/14		
山域	三重県 鈴鹿	山行日	07年2月3日(土)			
山名	御在所					
山行目的	氷雪登山・ラッシュ		コースタイム:	天候: 土-晴		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会
担当者



2月3日(土)
09:26 P 発
10:06 本谷取り付け口
11:05 1本
11:30 アイゼン装着
12:39 1本
12:00 登頂
<昼休憩>
14:30 下山開始
15:55 藤内沢下降点
17:00 裏道取り付け口

報告 快晴。トリトンからすでに、今年の御在所の雪が少ないのが見て取れた。ここ数日間にあった積雪に期待する。熊牧場より上は道路が凍結していた。車を止め、竹内車と合流し、スリップしながら登山口を目指す。本谷取り付けから登攀開始。トレースを見るに、既に人が多く入山している事が伺われる。非常に暖かい。汗ばむ。長島が先頭を進むが、慣れない雪と沢でのルート取りで、無意識での危険回避なのか、つい沢を巻いてしまい先輩がたから叱咤され、沢に戻り再び沢でルート取るも手間取り、気づけば塚本さんにリードされていた。沢は凍ってはいないが岩表面はツルツルに凍っている。途中、練習の為、ハーネスをつけていない状態で確保されながら沢を登攀、プルーヅックで自己確保しながらの沢の登攀で、2度ザイルを出した。途中からフル装備(ハーネス・カラビナ・シュリング・制動具・エイトカン・ヘルメット)で登攀。装備の重さを実感する。暫くして登頂。頂上は春の陽気。暖かい日差しの下、休憩後下山を開始。氷壁が現れるまでは急傾斜と深雪に苦戦する。氷壁では1パーティ(3名)の登山者がアイスクライミングをしていた。分厚く凍った氷が欠けて降ってくる。それだけ暖かいということだろうか。

私たちは歩を進める。藤内沢もテスト岩も雪に覆われていた。無事下山し、混みあった温泉で汗を流し、帰途に着いた。

<感想> ラッセル出来るほどの雪はありませんでしたが、沢を登る、沢をアイゼンで登る、雪深い急斜面を下る、などの、私にとって初の体験がいくつか出来た事はいい経験になりました。

<リーダー所見>
恒例と成った御在所岳氷雪登攀に今年もトライすることができた。

一の谷を詰め、藤内沢を下降するルート取りは始めてあるが登攀装備フルで臨み手ごたえを感じるものがある。最後のテスト岩奥の20mの滝をアップザイレンで意気込んだが時間切れで来年にもちこした。



雪が無くても、無いなりに有意義な訓練内容でした。

確認
藤田
07/2/14

作成
報告者)
長島 博美
2007/2/14